

令和元年横田基地研修所感

団体賛助会員
三沢市防衛協会
小比類巻 優子 氏

神無月を迎え、高くなった空を仰ぎ、まだまだ汗ばむほどの陽気に恵まれた4日、JAAGA 主催の横田基地研修に参加して参りました。

集合場所の昭島駅南口では、この度の研修に際し、細かな連絡をしていただいた担当理事のユーモアあふれる自己紹介があり、緊張していた顔を少し緩めることができました。

迎えに来ていただいた米軍のバスに乗り込み、整然とした基地独特のゲートをくぐりぬけましたら、そこには見慣れた景色である三沢基地とよく似た建物が立ち並ぶ風景が広がりました。建物の色、形は米軍三沢基地と同じに見えました。エプロンに並ぶ、輸送機…何かが三沢と違う…。そう、戦闘機が1機も無いのです。なるほど、景色の違いはそこだったのです。エプロンにそびえ立つオスプレイ、格納庫で鎮座？していたグローバルホーク、圧巻でありました。その後、第5空軍司令部会議室にて、米軍司令官とJAAGA 主要メンバーの皆さんとの会議を目を白黒させ聞き入り(崇高であろう会話でしたが、記憶に残っておりません…汗)、その後オフィサーズクラブにて、ステーキランチを堪能しました。私の席には、米空軍大佐のデイビッドさんと、米空軍中佐のブライアンさんがいらっしやり、通訳さんを介して、和やかに食事ができました。

私が、米軍の方に伝えたかった事。「2011.3.11の東日本大震災の折に、米軍の「TOMODACHI OPERATION」の発動で、どれだけの被災者が救われたことか。私の友達の家族も犠牲となったあの災害時の皆さんの敏速な働きに、直接感謝申しあげたかった」と、通訳さんから伝えてもらいました。デイビッドさんより、「必要とされている現場に、いち早く駆け付けたい思いがあるけれど、許可が下りるまでの時間がかかりすぎ、もどかしい思いもあったのですよ」とご返答いただき、胸が熱くなった次第です。

食後には、空自総隊司令部にて、井筒司令官の「リーダーシップに必要なこと」と題する講義があり、司令官に限らず、そこで勤務されている方々の苦悩も垣間見えた気がします。余談ですが、米軍司令部会議室も、航空総隊司令部の会議室も、映画「サンダーバード」に出てくるような立派なお部屋であったことも報告しておきます。

また、以前三沢基地にて勤務され、今総隊司令部で活躍されていらっしやる皆さんとの再会ができ、快く歓迎いただき、大変懐かしく、嬉しく思えました。皆さまの益々のご活躍を心より祈願申し上げます。

そして、実り多い研修を企画運営されているJAAGAの益々のご繁栄を祈念申し上げますとともに、この度の研修に参加させていただきましたことに、心より感謝申し上げます。大変、有難うございました。